

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390400410
事業所名	グループホームソラストゆうか小田井

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。天候を見ながら近隣公園周辺をウォーキングし住民と挨拶を交わしている。地域の秋まつりが復活し屋台や子どもの太鼓演奏を楽しんだ。子ども会の「お楽しみ会」に地域に開放している事業所内1階のコミュニティスペースが利用された。法人の方針もあってボランティア等外部団体との交流ははまだ実施できていない。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2か月ごとに5回は議事録を行政関係者や家族に送付する書面開催で実施し、6回目の12月には家族参加の対面開催で実施した。運営状況、事故や活動内容、研修内容を報告し意見交換を行った。家族からは交流の機会になってよかったとの声が聞かれた。次回は行政やいきいき支援センター職員の参加が得られるよう日程調整したいと考えている。更に地域関係者や民生委員等の参加やホーム行事との併催等段階を追って参加や規模拡大を進め、運営やサービス向上に努めていきたいと思っている。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区担当者とは運営推進会議議事録の送付や書類の提出で協力関係が築かれており相談や情報交換、提案できる体制にある。また、生保関連担当者の定期的訪問があり連携を図っている。地域の同業者との会議に管理者や関係職員が参加している。市主催の講習や研修会の案内は届くが、法人による研修が充実しているため参加していない。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者・家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族との面会は事前にアポイントメントを取り1階で時間を制限し行っている。状況の変化や依頼事項があれば家族へ電話連絡し要望や意見も聞いている。面会時やケアプラン作成時に日常の様子を伝えながら聞き取ることもあり、内容を職員間で共有・検討し、サービス向上に努めている。居室にある冷蔵庫使用に関し本人の希望を取り入れ変更したこともある。「ホーム便り」は作成せず、介護計画送付時に状況や様子を伝えるお手紙を職員が作成し送付したり、3ヶ月前からホーム1階入り口に写真を掲示している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	×	×	×							

備考欄

--